

## 主な特徴

### 分散サービス アーキテクチャ

- 適切な粒度のサービス モデル
- 分散環境に対応した動的なプロイメントとサービスの管理
- イベントドリブン方式のプロセスオーケストレーション
- ライフサイクル管理とバージョン管理
- XML データ変換

### ピアツーピアの通信バックボーン

- サービス レベルでのフェイルオーバー機能と永続的な運用性
- 包括的なセキュリティ管理

### 補完機能

- モニタリング、ログ、検証の機能
- プリビルト サービス コンポーネント

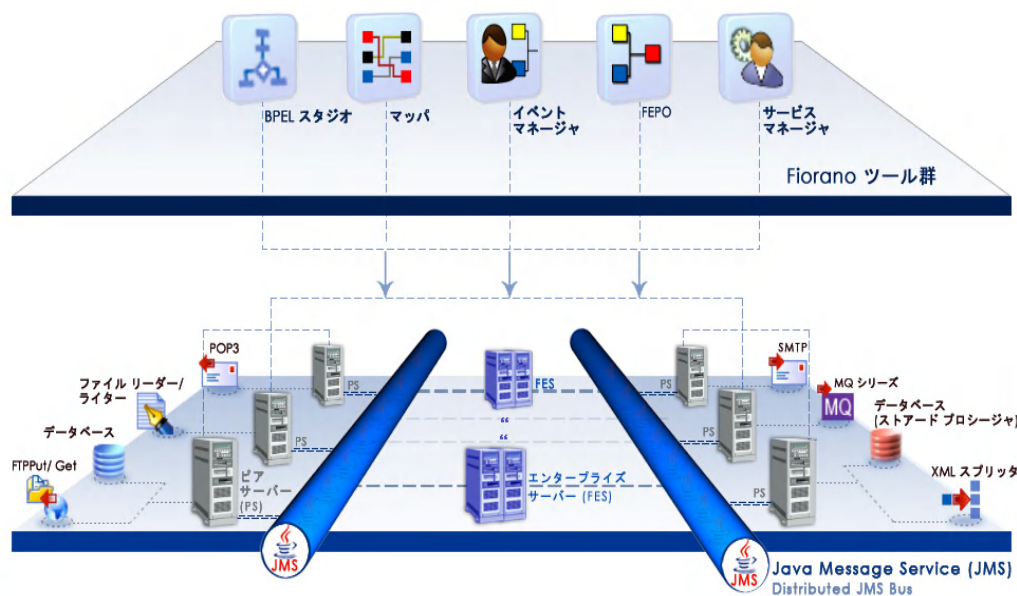
## サポートしている標準

- JMS、JCA、JMX
- XML : XSLT、XPath、XQuery
- Web サービス : WSDL、UDDI、SOAP
- セキュリティ : SSL、JAAS、JSSE
- BPM : BPEL
- その他 : J2EE、.NET、HTTP、JDBC

## FIORANO SOA™ 2007 プラットフォーム

Fiorano SOA 2007 は、サービス指向アーキテクチャ (SOA) を設計、実行するためのプラットフォームで、企業内外のアプリケーションを各種の標準規格とコンポーネント化によるアプローチに基づいて統合し、企業内外にまたがったビジネス プロセスを実現します。Fiorano SOA 2007 は、高度に分散されているアーキテクチャでありながら一元的に管理できるメカニズムを持っており、また、企業内外に点在する既存のビジネス ロジックを活用することでビジネス上の課題を解決する効果的なソリューションを迅速に組み上げていくことができます。Fiorano SOA 2007 が備えているイベントドリブン アーキテクチャによって、ビジネス環境の急速な変化にすばやく対処することが可能になり、今までにない柔軟性と生産性を得ることができます。

Fiorano SOA 2007 は、大規模でセキュアな条件が求められるミッションクリITICALな環境で多くの実績を有し、効率的な再利用性の実現と、規模と企業内外への広がりに応じて段階的に大きくしていくインクリメンタルなプロジェクトが実践されています。



Fiorano SOA 2007 プラットフォームでは、Fiorano ESB が基盤部分を担い、それに加えて Fiorano BPEL エンジン、Fiorano BPEL エディタ、Fiorano オーケストレーション ツール、Fiorano サービス コンポーネントが備わっており、エンタープライズ規模の包括的なプラットフォームとなっています。まさに、SOAを短期間で迅速に実現するためのプラットフォームです。

大規模システムやミッションクリティカルなシステムにおいて多くの実績を誇る Fiorano のプラットフォームは、信頼性と柔軟性に重点をおいて、アプリケーションのロジカルなデザインがそのまま物理的なインプリメンテーションに結び付けられるように設計されています。その結果、ビジネス プロセスの開発が直感的、視覚的に行えるようになり、従来のインテグレーション製品と比べて飛躍的に開発効率を向上させることができます。

## 分散サービス アーキテクチャ

### 適切な粒度のサービス モデル

Fiorano SOA 2007 では、適切な粒度のサービス モデルを定義することが可能となっています。このモデルでは、複数のコンポーネントからなるイベントドリブン方式のプロセスを 1 つのコンポジット コンポーネントとすることができ、コンポジット コンポーネントは、個別のスレッド上で実行される JCA コンテナとして BPEL から呼び出すことも可能です。Fiorano のサービス モデルでは、ビジネス ロジックを簡単にコンポーネント化することができ、再利用性とパフォーマンスの最適化が自動的に達成されます。

### ダイナミックなデプロイメントと管理

分散環境上へのサービスのデプロイメントを、任意の場所から一元的に行えます。また、個々のサービスのコンフィグレーション、管理、変更、置き換えなどを、他のサービスを中断することなく独立して実行することができます。

### イベント ドリブン オーケストレーション

ビジネス プロセスのロジカル デザインを ESB 上に分散している物理的なリソース（アプリケーションやサーバーなど）に自動的にマップします。この機能により、物理的なリソースに関する技術知識を持たないユーザーの方でも、イベントドリブン方式のビジネス プロセスの作成、デプロイメント、変更などが行えます。

### ライフサイクルとバージョンの管理

ネットワーク上の分散されたエンドポイントへのデプロイメントを管理する機能を備え、さらに、ソフトウェア ライフサイクル（開発、テスト、ステージングおよび本番）に応じた自動デプロイメントとバージョン管理が実現されています。

### XML データ変換

高度な XSLT 変換をサポートし、また、プラグナブルな外部変換エンジンに置き換えることも可能となっています。XSD / DTD を用いたアサーション ベースのマッチング機能を用いて、プロセス ルーティングの検証を行う機能も備えています。

## ピア ツー ピア形式の通信バックボーン

### 制限のないパフォーマンスとスケーラビリティ

ピア ツー ピア メッセージングでは、イベントが中央のハブを経由する必要がなくなります。これにより、分散されたサービス間のイベントフローは同時並列に処理することが可能となり、ある箇所で発生した障害が全体に影響することも避けられます。

### サービス レベルでのフェイルオーバーと無停止

サービスの自動フェイルオーバー機能を ESB 上の各ノードにデプロイメントでき、自己修復可能なアプリケーション ネットワークが実現できます。これにより、どのような環境においてもシステムの無停止運用が可能となります。

### 包括的なセキュリティ機能

J2EE、LDAP、その他の標準に準拠した認証、認可、暗号化の柔軟なフレームワークを用意しました。これにより、様々な法的セキュリティポリシーにも対処することができます。

## 汎用のサービスとアダプタ

### モニタリング、ログ、検証

イベントドリブン プロセスの中で発生したエラーの非同期通知イベントをサポートしています。また、メッセージ、ドキュメントおよびサービスの動的な追跡、ログ、検証、監視の機能を備えています。

### プリビルト サービスとアダプタ

プリビルトされた豊富なサービスを製品に組み込んでいます。このサービスには、ほとんどすべての市販リレーショナル データベース、ファイル、メッセージング ミドルウェア（MQSeries、JMS、MSMQ など）、Web サービス、EJB、FTP、SMTP などのアダプタも含まれています。

## 標準規格に準拠したソリューションの利点

Fiorano SOA 2007 では、コミュニケーション、接続、データ変換、セキュリティなどの幅広い標準規格に準拠しているため、アプリケーションの相互運用性の確保、既存ソフトウェア資産の再利用、開発技術者のスキル変更が非常に容易になっています。Fiorano 社は、Java、Web サービス、XML などのインテグレーションに関係する標準規格を製品内でサポートするとともに、その規格策定にも参画しています。

**特定ベンダーへの依存を排除：** 従来のインテグレーションでは非標準な API によるプログラミングが強制されていたため、柔軟性や再利用性に欠け、膨大なメンテナンス費用を要する「囲い込み」現象が発生しました。Fiorano の標準に準拠したサービス指向アプローチでは、ビジネス プロセスの運用をスムーズにし、インテグレーション プロジェクトの開発期間、費用を飛躍的に削減します。

**相互運用性の簡素化：** Web サービスおよびその他の標準をサポートしている Fiorano SOA 2007 では、異なるプラットフォーム上に分散されているアプリケーションのシームレスな相互運用性を実現できます。費用のかかるデータ変換機能の開発や特別な開発言語によるコーディングを必要とせず、アプリケーション間のデータ交換が行えます。

**ソフトウェア資産の再利用：** 標準規格とサービス指向アーキテクチャ (SOA) の採用により、既存のレガシー システムや ERP パッケージなどがコンポーネントとして再利用できるようになり、開発コストや管理コストの削減をもたらします。また、標準規格に準拠することで開発技術者の学習コストが抑えられ、開発 プロジェクトの効率が向上します。

**シームレスな接続性：** Web サービス、JMS、JCA、.Net などの標準プロトコルにより、Fiorano SOA 2007 では、アプリケーション サーバー、メッセージング ミドルウェア、メインフレーム、ユーザーの独自システムなどの上で稼働しているアプリケーションを、再コーディングすることなくシームレスに統合することができます。また、バージョンアップや API の変更による影響がなく、稼働中のシステムを中断することなく新バージョンへの移行が可能となります。

## FIORANO SOA™ 2007 のビジネス上の利点

Fiorano SOA 2007 を採用いただくと、既存システムのインテグレーションやリアルタイム処理化において、開発期間の短縮、拡張性に富んだプラットフォーム、高い再利用性や拡張性、シームレスな相互運用性、高いROI など、多くの価値を実現していただけます。

### 変化への俊敏な対応

Fiorano SOA 2007 上に構築されたサービス指向プロセスは、ビジネス環境の変化に俊敏に対応できます。環境の変化に応じてプロセスを変更する場合でも、既存のビジネス アプリケーションへの影響を最小限に抑え、また、プロセス全体を停止する必要もありません。適切な粒度によるモデリングを可能とする Fiorano の優れたサービス モデルは、ビジネス要件の変化に応じて変更すべき点を特定し、変更点を迅速に実装することが可能で、アジャイルなビジネスを実現します。

### 再利用性

Fiorano SOA 2007 は標準規格に準拠しているため、既存のアプリケーションを効果的に再利用でき、プロジェクトのコストを削減いたします。Fiorano SOA 2007 のツールを使用することで、既存ソフトウェアのコンポーネント化、ビジネス プロセスでの再利用などが容易になり、開発コストと管理コストを大幅に削減することが可能となります。

### 開発期間の短縮

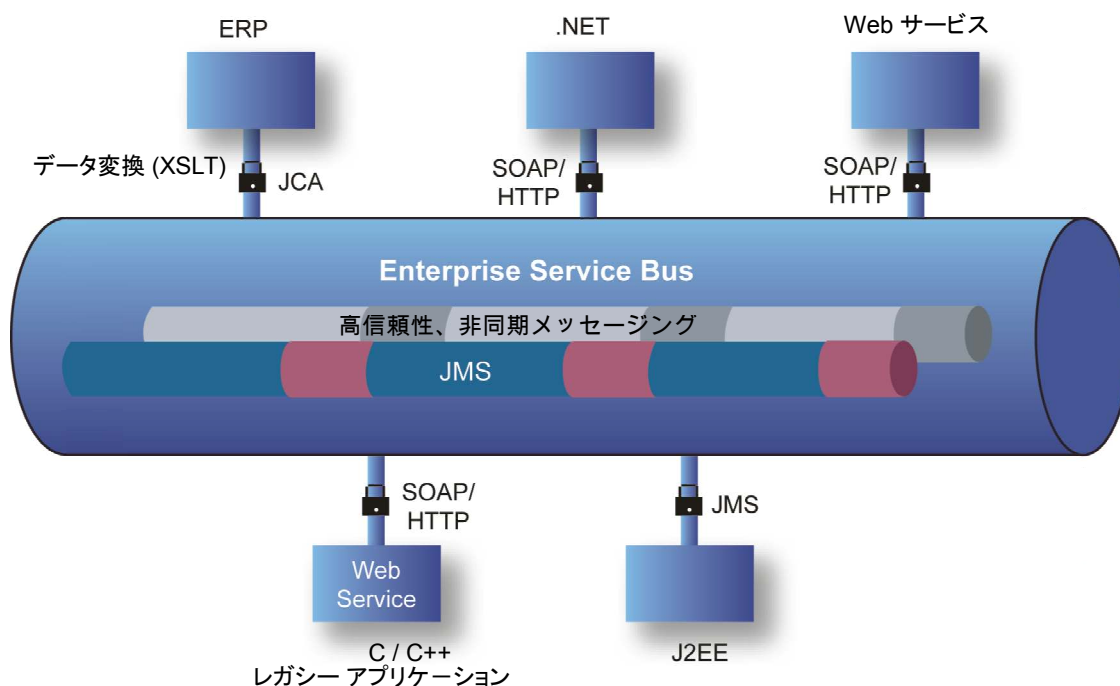
Fiorano SOA 2007 では、サービス オーケストレーション用のビジュアル ツールによって、プログラミングすることなくサービス指向プロセスをインタラクティブに構築することが可能となります。企業内外に分散するアプリケーションをプログラミングすることなく統合できることは、開発作業の自動化、開発期間の短縮につながります。

### トレーニング費用の削減

Fiorano SOA 2007 にはサービス指向プロセスの構築に必要なサービスがブリビルトされて組み込まれており、既存ソフトウェアをコンポーネントとして組込むためのツール群と相まって、プロセス構築の生産性を大きく向上させます。様々な標準規格に準拠しているため、新たな技術を学ぶ必要はありません。技術者のみならず業務担当者でもサービス指向プロセスの構築に短期間で取組めるようになり、経営課題の解決に専念できます。

### 運営コストの低減

Fiorano SOA 2007 のバージョン管理、デプロイメント、変更管理の機能は、他の製品に比べて飛躍的な管理コストの削減をもたらします。さらに、このプラットフォームには、業務の拡張や企業の成長に応じて段階的に拡張していただける革新的なスケラビリティを有しております。



### 標準に準拠したインテグレーションを可能にする ESB

ESB は企業全体にまたがる SOA の基盤となるものです。ESB は、標準に準拠した、イベントドリブン方式のサービスをサポートする、高度に分散しながらも一元的な管理を管理を可能とするプラットフォームであり、アプリケーションやプロセスを統合する基盤となります。ESB は、障害の極集中を排除することによって信頼性とリニアなスケラビリティを実現し、パフォーマンス ボトルネックの発生を抑えます。アプリケーション、ビジネス ロジック、データ変換、ルーティング、分散サービスといった ESB 上のリソースは、ネットワーク内の任意の拠点から管理することが可能です。XML や Web サービスといった標準に基づいて設計された ESB は、適用対象を選ばず、費用効果の高い、次世代の統合ソリューションとなっています。企業内のインフラストラクチャとアプリケーションを統一的に統合することができるため、情報部門が捜し求めてきた再利用性、柔軟性、開発期間の短縮という価値を ESB によって実現することができます。

## グローバル企業で採用されています

Fiorano のソリューションは、ビジネスをグローバルに展開されている企業の運用効率とビジネス パフォーマンスを、各国に存在している拠点間の情報交換をダイナミックにサポートすることで向上させます。Fiorano の標準に準拠したソリューションは、迅速な ROI をもたらし、実績のあるインターオペラビリティや信頼性と相まって、世界市場におけるお客様の成功をサポートいたします。

Fiorano は、今日の競争の激しい市場環境の中で、開発、インフラストラクチャ、パフォーマンスなどの課題に IT 部門が直面していることを認識しております。すでに 400 社を超えるお客様が Fiorano 製品を採用し、次のような課題の解決に成功しております。

- > 既存のビジネス プロセスやアプリケーションを部門間、企業間の垣根を越えて再利用し、その価値を最大限に活用したい
- > 需要のダイナミックな変化に対応することで顧客の満足度を高めたいが、そのための新たなハードウェア購入やサービスの中断を避けたい
- > 初期費用を抑え、さらに既存ソフトウェア資産の再利用と標準規格の採用によってシステムの開発と保守の費用を削減したい
- > トレーニング費用を削減し、さらに複雑なインテグレーションの管理と開発を社内エンジニアで行うことで外部コンサルタントの費用を削減したい
- > エンジニアではなくビジネスの企画担当者がビジネス プロセスの設計が行えるようにすることで生産性を向上し、またプログラミング作業も極力減らしたい

### 製造

製造業のリーダ企業において、異機種環境のネットワーク上でリアルタイムな製造プロセス制御を行うソリューションとして Fiorano を採用いただいております。

### 小売

世界で最も大きなリテール企業において、最新の価格情報を世界中の店舗にリアルタイムで配信するソリューションに Fiorano を採用いただいております。

### 通信

複雑なワークフローを 1 日に数百万のメッセージが行き交うミッションクリティカルでノンストップ性をも要求されるソリューションに、テレコミュニケーション業界の複数の企業で Fiorano を採用いただいております。

### 金融サービス

先進的な金融サービス企業で、リスク管理ソリューションや STP (Straight Through Processing) ソリューションとして Fiorano を採用いただいております。

### 政府、自治体

多くの市や州の公的機関で Fiorano SOA プラットフォームが稼動しており、市民サービスを飛躍的に向上することに成功しています。

## Fiorano Software について

Fiorano Software は、カリフォルニアに本社を置く、エンタープライズ インテグレーション ミドルウェアの業界をリードしている企業で、ミドルウェア インフラストラクチャ技術において数多くのお客様から高い信頼をよせられています。Fiorano のソリューションは、インターオペラビリティ、パフォーマンス、スケーラビリティ、ROI などの面で新たなパラダイムをもたらしています。アメリカン エクスプレス、AT&T ワイヤレス、ボーイング、BP (旧ブリティッシュ ペトロリアム)、エリクソン、FedEx、ロッキード マーチン、モーガンスタンレイ、モトローラ、POSCO、シュルンベルグなどの世界的なリーダ企業で Fiorano の技術が採用され、企業のバックボーンシステムとして稼動しております。

Fiorano Software に関する詳細な情報は、弊社のホームページ ([www.fiorano.com/jp/](http://www.fiorano.com/jp/)) をご参照くださるか、[info\\_jp@fiorano.com](mailto:info_jp@fiorano.com) 宛てに電子メールでお問い合わせください。

© Copyright 2007, Fiorano Software Inc. All rights reserved. Fiorano, Fiorano SOA 2007 Platform, Fiorano ESB, Fiorano BPEL, FioranoMQ and the Fiorano logo are trademarks or registered trademarks of Fiorano. Other trademarks are property of their respective owners.

## 製品パッケージに含まれる コンポーネント

- Fiorano ESB™ サーバー
- Fiorano ピア サーバー
- Fiorano BPEL™ サーバー
- Fiorano オーケストレーション ツール
- Fiorano コンポーネント
- Fiorano BPEL エディタ

## プラットフォーム

- Sun Solaris
- Microsoft Win 32
- IBM AS 400
- HP-UX
- AIX
- Linux

# Fiorano®

日本 オフィス

東京都千代田区外神田 3-13-2

リナックスビル 3 階

Tel: (03) 6777 7530

email: [info\\_jp@fiorano.com](mailto:info_jp@fiorano.com)

website: [www.fiorano.com/jp/](http://www.fiorano.com/jp/)